

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年4月15日公開

私達が確かに知っている事

今日の預言アップデートは、主がずっと私に語られていることを改めて思い出すために、ある前提から始めたいと思います。つまり、「コースを外れない」という事です。私も他の人と同様、巷にはびこっている誤報や混乱によって、横道にそれていく傾向にありますから。この終わりの時には特にです。今朝ここに来る途中に考えていて驚いたのですが、イエスも、その後の使徒パウロも、「欺かれるな」という事を何度も強調されたのです。「あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。」(マタイ 24:3) イエスは何よりも最初に言われました。「人に惑わされないように気をつけなさい。」(マタイ 24:4) 使徒パウロは、教会へ書いた手紙の中で、「欺かれるな」と強調しています。言い換えれば、「欺きがある」という事です。テサロニケ人への手紙の中でも彼は告げています。「神は(強い) 惑わす力を送り込まれます。」(第二テサロニケ 2:11) 「彼らは、救われるための真理への愛を受け入れなかったからです。」(第二テサロニケ 2:10) そこで彼らは、偽り、この強烈なまやかし、強い欺きを信じるのです。このように多くの混乱が起こっています。「混乱の神」が誰であるかは、私たちは知っていますね？そして「偽りの父」が誰であるかも私たちは知っていますね？それから「兄弟たちを告発する者」が誰であるかも私たちは知っていますね？それからまた、黙示録 12章にある通り、サタンは「自分の時が短い」のを知っている事も、私たちは分かっています。彼は自分に残された時が短い事を知っていて、非常に忙しいのです。だからあまりにも多くの混乱と、あまりにも多くの欺きが起こっているのです。皆さんもきっと私と同じだと思いますが、もはや誰を、また何を信じていいのか。それを見極めるのがどんどん困難になって来ています。あまりにも膨大な量の情報が出回っていて、非常に慎重に見極めなければなりません。だから今日は、主が私に思い出させてくださった次の事をお話したいのです。

「私にはわからないときは、私が知っていることに信頼を置くことが出来る。」そして私にわかっている事とは、「神は良い方であり、神が支配しておられる。」ところでこれは、人生におけるあらゆる場面で言える事です。私たちの娘ノエルが死んだとき、主がこれを非常にパワフルな形で示してくださったのです。

「分からない時は、あなたが知っている事に依り頼む。」そしてあなたに分かっているのは、「神が唯一、常に良い方だ」という事、それから「状況がどれほど悪かったとしても、神は必ずそこから良いものをもたらししてください。」「状況がどれほど悪くても、神の良さは決して変わらない。」

私は生涯、信仰によってこれを握りしめます。神だけが唯一いつも良い方で、神が現在起こっている事の全てを、完全に支配しておられる。以上について今日はお話したいと思います。

つまりこの先に起こることで、私たちに知り得る事、私たちが知っている事についてです。それらが起こると聖書が私たちに告げていますから。さらに踏み込んで言えば、聖書預言とは、私たちが知識として知るだけでなく、聖書預言は私達一人一人の人生において、深い意味をもつものです。今日のアップデートの最後に、少しだけ時間を割いて、預言的な展開、特にシリアに関する事が、私達一人一人にどういう意味があるのかをお話したいと思います。特に厳しい試練に直面している人、もしくは将来が見えず恐怖を感じている人、世は、日毎に悪に傾倒しているように見えますから。

使徒パウロは、**テモテへの手紙第二 1:7**で、次のことを彼に思い出させています。つまり**神が、私たちに与えて下さり、私たちの内に宿る聖霊は、私達を臆病にするものではない。**

訳によっては残念ながら、Spirit (御霊) を大文字で記していないものがありますが、「神が私たちに与えてく

ださったものは、臆病の霊ではなく…」ここでパウロが言っているのは、聖霊の事です。NIV訳は、Spirit（御霊）という言葉の正しく大文字にしています。なぜならパウロは、「聖霊は私たちに恐れを与えない。」と言っているからです。神が私たちに与えて下さった聖霊は、臆病な霊ではなく、力と愛と憤みとの霊です。（第二テモテ1:7）だから私たちの回りの全てが崩壊して行っても、私たちは感情的にも精神的にも崩れないのです。皆さんも、次の言葉を聞いた事があるでしょう。「**聖書預言は、私たちに恐れさせるものでなく、私たちも備えさせる為のものだ。**」ただ人によっては、備えをするためには、まず恐れなければならない場合もあるでしょう。

イエスは、そのことが起こる前に話して、私たちに備えてくださいました。それが起こり始めた時、未信者達は信じます。そして私たち信者は、自分たちの贖いが近い事を知って、体をまっすぐにして頭を上を上げます。

（ルカ21:28）

私がこれを言う理由は、次の通りです。聖書は終わりの時、教会携挙の前に、それは7年の大患難の前です、その時に、特に中東で何が起こるかをはっきりと告げています。シリアで現在起っている事について、私たちに分からない事が多くあると私は気づきました。しかし私たちにわかっているのは、イザヤ書17:1が告げている事で、「シリアのダマスカスは、取り去られて町でなくなり廃墟となる。」そして私は、この詳細が告げられた預言が、私たちのまさに目の前で、成就されようとしている、と強く信じています。

さらにロシアが実際にどうなっているのか、また彼らとイランがどうなっているのか、私たちに良く分かりません。ただ私たちに分かっている通り、エゼキエル38章には、彼らが同盟国を率いてシリアを通して、北からイスラエルを攻撃する、と書かれています。その為に私は、シリアに関するイザヤ書17:1が、このロシア、イラン率いる同盟国がイスラエルを攻撃することを告げている、エゼキエル38章成就への導火線になる、と信じているのです。またこれら全てがいつ起こるのかは、私たちに分かりません。しかしそれがいつ起こるのかを予測したい人にとっては、情報に事欠かず、これが常に嘆かわしいのです。これが残念な事に、特に聖書預言にダメージを与えています。事実このために多くの牧師が、聖書預言には触れもしないのだと私は確信しました。聖書を飛び越して行き過ぎをして、「主がこの日、この時に戻ってくる！」などという人達と同類に見られたくないからです。そしてその日に主が来られないと、多くの人が絶望して、中には道を外れて行く人や、憤慨して苦々しくなったり、怒りを抱く人もいます。

その日その時は、私たちに分かりません。しかし私たちに分かっている事があります。第一テサロニケ5:3には、突如として滅びが襲う、と書かれています。さらに具体的に次の2つの言葉を人々が言っている時だ、とも書かれています。人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのような時に、突如として滅びが彼らに襲い掛かります。ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなものです。（第一テサロニケ5:3）

さらに「彼らは」…「私たち」ではなく、「彼らは」それ（突如の滅び）を逃れることは決してできません。つまり逃れる者たちが居る、ということです。その為に私は、教会の携挙が、この突如の滅びと同時に起こる、とますます確信しているのです。違う言い方をしますと、**突如の滅びが下ると、私たちは上に上がる。**おかしいですか？それが下ると私たちは上がるのです。私たちは、「彼ら」ではありません。「彼ら」は逃れられません。「私たち」は逃れます。教会の携挙によって大脱出です。このキリストを拒絶した世に臨む全ての事からの、私たちの脱出です。これを理解した上で、いくつかの緊急速報についてお話したいと思います。これらが先にお話しした預言と、それに伴って他の預言とが、間もなく成就することを示唆していることは、疑う余地がありません。

国連の緊急会議を召集しましたが、思惑通り国連が、アメリカ率いるシリア攻撃を非難することはありませんでした。

最後の報道は、昨日の The Times of Israel からです。彼らは、シリア攻撃に関するトランプの演説の全文を記載しています。そこで、アメリカ大統領の言葉をお読みしたいと思います。ここまで私たちが見て語ってきた事が、適切に書かれていると思いますから。大統領の言葉を引用します。

「どれほどの量のアメリカ人の血も、貴重な財産も、中東に永続する平和と安全を生み出す事は出来ない。そこは問題の多い場所だ。我々は良くしようと努力した。しかしそこは問題の多い場所だ。」

そこで結論はこうです。私たちは、この終わりを知っています。それは、これらがどのように転落するか、聖書が詳細に、実に具体的に告げていますから。アメリカが中東を良くすることはありません。この先起こるのはそうではありません。どうして分かるのか？聖書預言の中に、アメリカ合衆国は見つかりませんから。つまりアメリカに何かが起こる、という事です。エゼキエル 38 章が起こるとき、イスラエルを防衛に来るアメリカはありません。私の所には非常にたくさんのコメントやメールや投稿が届いて、お叱りを受けていますが、敬意を込めてお伝えさせていただきます。黙示録にある「**大鷲の翼**」(黙示録 12 : 14) に関して、7年の大患難の後半3年半、忌むべき事によって荒廃が起こった後の中間地点、ちなみにこれは、ダニエル 9 : 27 に書かれています。この「**大鷲**」は、アメリカを象徴しているのか？違います。聖書の中で鷲は、神性の象徴であり、これは神です。7年の大患難の後半の3年半は、神だけがイスラエルを守られるのです。イスラエルが攻撃を受けるとき、彼らは完全に孤立します。神がそうされるのです。なぜかといえば、この預言の中にも詳細が書かれてあり、エゼキエルが書いています。

「多くの国々の見ている前で、わたしを知らせる時、彼らはわたしが主であることを知ろう。」

(エゼキエル 38 : 23)

イスラエルが攻撃される時、あらゆる敵に反して、イスラエルが勝利するのです。

-----なぜか？

-----強力な軍隊の為？ 違います。

-----アメリカが軍事的に助けるのか？ 違います。

彼らは生存し、さらには繁栄します。なぜか？ それは神が彼らの為にそれをされたからです。だからです。

それが聖書の告げている事です。だから私たちは知っているのです。そしてこれが、私たちに知り得る事です。

私たちに分からない時、私たちは、私たちが知っている事(聖書)に立ち返るのです。そして、これが(聖書)私たちの知っている事です。

最初にお伝えした通り、残りの時間は、これらが私たち一人一人にとって、どのような意味があるのかをお話ししたいと思います。

特に恐れを感じている人に向けて。なぜこんなことをいうかと言えば、非常な恐れがあるからです。多くの人が恐れています。クリスチャンでさえ恐れています。そして疲れています。多くのクリスチャン達が、非常に疲れきって、非常に落胆して、希望を失っています。皆さん元気を出してください。希望はあります。ただ問題は、その希望は、この世やこの世のものにはありません。一つ、神がされている事を率直にお伝えしたいと思います。私たちの知る通り、歴史の終わりの瞬間である今、神がされていると私が信じている事の一つは、神は、この世での私たちの人生を混乱させて、次へと私たちを備え、確固としたものにしておられるのです。

この世は、私たちの居場所ではありませんから。皆さんもご存知の通り、神は苦しむ者を慰めてくださいます。しかし同時に、神は安住している者に苦しみを与えます。この世とこの世のものに、すっかり安住している者に対しては特にです。そして私たちクリスチャンは、この仮の人生に、あまりにも深く根を張りすぎる傾向にあると思うのです。そこで神は、私たちの根を抜いて、備えさせようとされるのです。私たちのこの世への執着を緩められます。そしてこの世に希望を置きがちな人たち、さらに言えば、この大統領にさえです。よく聞いてください。ここで動画を止めないでください。私が危惧しているのは、多くの善意あるクリスチャン達が、トランプ大統領に希望をおいていますが、私の希望は大統領ではありません。私の希望は、イエス・キリストにあります。ところで、もしかしたら神は、あなたを、この世の事に幻滅させたいのかも知れませんか？さらには、この世を嫌悪させたいのかも知れませんか。ここを去りたい、と思わせるように。

以前にもお話ししましたが、今回も良い機会なので、もう一度お話ししますと、私が高校生の時、私の父はその教師で、私は教師の息子でした。当時私は救われていなかったで、非常に反抗的で…卒業してから救われましたが、非常に反抗的で、高校3年生の時に停学処分を受けました。あと少しで退学になるところでしたが、私のしたことが原因で停学になったのです。そこに一人の教師が私を呼び出して言ったのです。彼女はクリスチャンではありませんでしたが、先生は自分が言った事が、私の人生の中でどれほど深い意味を持つかなど、考えもしていなかったと思います。先生は言いました。

「もし、高校時代が、あなたにとって最高の時間であったなら、あなたは卒業したくなかったでしょう。」私が何を言いたいかわかりますね？よく居るでしょ？特に先生が「楽しめよ！今が人生で一番良い時だ！」なんて言ったら何の役にも立ちません。最高でこれなの？もう嫌だ！！！！私には高校は楽しくなかったのです。私は高校を出るのが待ち遠しかったのです。そこでその先生が言いました。「あなたにとっては、ここは悪かったです。でもここが、あなたにとって良かったら、あなたはここを出たくなかったでしょう？」これは私たちにとって、自然な事ではありませんか？ここでの物事があまりに良かったら、私たちはここを出たくはありません。去りたくありませんね？だから…こんな言い方はしたくありませんが、他に言いようがないので言ってしまうと、神にはそれが問題なのです。その問題とは、何だかわかりますか？もし私たちの希望がここにあれば、神は何かをして、私たちの希望がここでなく、彼が私たちを連れ去って下さる事が、私たちの希望になるようにされます。では神は、どのようにしてそれをされるか？神は私たちが、居心地悪く感じるようにされます。そうでしょ？もしかしたら、だから、あなたの人生で起こっているような事が、あなたの人生で起こっているのかも知れませんか？そうして神は、あなたに言っておられるのかも知れませんか。「もしもし！そこで安住しすぎてはいけないよ！そこはあなたの最終目的地ではないんだよ！わたしはもうすぐあなたを最終目的地に連れて行くために迎えに行くよ！行きたいか？」

物事が上手く行っていないときは、すぐにでも主に来て欲しいでしょ？違いますか？同感だという人は居ませんか？苦難や試練や困難に直面している時は、思うでしょう？「ああ！主よ！早く来てください！！！」そして物事が上手く行っている時は、「慌てなくても良いよ。心配しないで！」

ローマ書 15：13 で、使徒パウロが言っています。どうか望みの神が、あなた方を信仰による全ての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって、望みにあふれさせてくださいますように。(ローマ書 15：13)使徒ペテロが、第一ペテロ 1：3-4 にこう書いています。よく聞いてください。

私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめ讃えられますように。神は、ご自分の大きな憐れみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられた事によって、私たちを新しく生まれさせて、生ける望みを持

つようにしていただきました。また朽ちることも汚れることも、消えていくこともない資産を受け継ぐようにしていただきました。これはあなた方のために、天にたくわえられているのです。(第一ペテロ 1:3-4)

皆さんの宝はそこにありますか？マタイ 6:19-34 を是非読んでください。イエスは基本的にはこのように言っておられます。

「自分の宝を地上に蓄えるのを止めなさい。そこでは、虫とサビで傷物になり、また盗人や税務署が4月15日に来て盗みます。」(笑)(笑)(笑)皆さんの一日をすっかり台無しにしましたね？今日は15日で火曜日は確定申告の締切日ですから。ごきげんよう！(笑)(笑)(笑)

ともかく、あなたの宝を地上に蓄えるのを止めなさい。

「自分の宝は天にたくわえなさい。そこでは虫もサビもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともない。」

それから彼は、次のように言われました。

「あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。」(マタイ 6:21)

彼はこの逆は言っておられません。「あなたの心があるところに、あなたの宝がある。」とは言っておられません。違います。「あなたの宝のあるところに、あなたの心もある。」あなたの宝はどこにありますか？あなたの受け継ぐ分はどこにありますか？そこにあなたの心があるのです。それはあなたのために、天にたくわえられているのです。要はこれです。

永遠のいのちを持つためには、イエス・キリストが死者の中からよみがえられた事によって、私たちは新しく生まれ、生ける望みを持たなければならない、ということを理解するのは重要です。このように考えてみてください。裕福な家庭に生まれた人は、豊かな財産を受け継ぎます。それと同じように、私たちも神の家族に新しく生まれ、永遠のいのちとキリストにある私たちの富を受け継ぐのです。

これが良い知らせです。救いの良い知らせ、もしくは、イエス・キリストによる福音と言っても良いでしょう。

イエスは言われました。「人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」(ヨハネ 3:3)

神の御国に入る為には、新しく生まれなければなりません。どういう意味か？神の御霊によって、新しく生まれるのです。霊的に新しく生まれるのです。初めは、肉体的にアダムの罪を受け継いで生まれます。だから2度目に、第二であり最後のアダム、イエス・キリストのもと、霊的に新しく生まれなければなりません。それが良い知らせです。

使徒パウロが、第一コリント 15:1-4 で、福音について説明しています。

「私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは」何もりも大切なこと、一番大切なこと、それは何か？「キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、また葬られたこと、また聖書の示すとおり、3日目によみがえられたこと。」(第一コリント 15:1-4)

これが福音、良い知らせです。福音という言葉の意味は、単に「良い知らせだ！あなたの負債は支払われた。あなたは自由だ！良い知らせだ！」

「何の負債？」「わたしは何か宣告されてるの？」はい。それは死刑宣告ですよ。「それは悪い知らせだ。」そうですね。ただ良い知らせは、誰かがあなたの代わりに死んでくださり、あなたの代わりに、あなたのために、あなたの負債である死刑宣告を受けてくださったのです。これが良い知らせです。そしてこれが福音です。そ

それが福音、それが私たち一人一人が永遠のいのちのために、今の人生の中で下す最も重要な決断へと導くのです。 その決断、私たちがイエス・キリストに関して行う事、また彼が私たちのためにしてくださった事が、私たち一人一人が、永遠に過ごす場所を決定するのです。私たちがこの地上で最後の息をつき、永遠で最初の息をつく時、それが全ての基となるのです。

どうかあと数分だけお付き合いください。これから子供にでも分かるほど簡単な、救いのABCをお伝えしたいと思います。イエスは、天の御国に入るためには、私たちは子供のようにならなければならないと言われました。だから、子供にでも分かるほど簡単なのです。

Aは、自分が罪人であり、救い主が必要であると Admit/認める、もしくは Acknowledge/認識する。 ローマ書3:10には、こうあります。

「義人はいない。ひとりもない。」(ローマ3:10)

私たちは皆、罪人として生まれたのです。 だから私たちは新しく生まれなければなりません。ローマ3:23には、こうあります。

「すべての人は罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず、」(ローマ3:23)

そしてローマ6:23は、死刑を宣告しています。ここで私たちは死刑が宣告されています。その理由は、「罪から来る報酬は死です。」(ローマ6:23)

しかし神からの賜物は、私たちの主イエス・キリストにある永遠のいのちです。

エペソ人への手紙2:8-9には、こうあります。

あなた方は恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることもないためです。(エペソ2:8-9)

私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちは、神からの賜物です。それがA。次にB。

Bは、単にイエス・キリストが主であると心で Believe/信じる。 これはローマ10:9-10が告げていることで、こうあります。

あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。

(ローマ10:9-10)

それがB、次にCです。

Cは、主の御名を、Call/呼び求める。もしくは、イエス・キリストが主であるとあなたの口で Confess/告白する。 これもまたローマ10:9-10で、

「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。

人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」(ローマ10:9-10)

そして最後にローマ10:13。これで交渉成立です。

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」(ローマ10:13)

「先生どうしてこれを毎週行うのですか？」とっておられるかも知れません。また、「先生これからもずっと毎週毎週されるつもりですか？」そうです。「なぜ？」それは私が牧らせていただいているこの素晴らしい

教会の中に、もしかしたら、これまでに一度も主の御名を呼び求めて救われたことのない人が居るかも知れません。だから私は福音を伝えて、あなたがそれに応えるチャンスを作るのが重要だと思うのです。

最後に取り急ぎ皆さんにお伝えしたいことがあるので、もう少しだけお付き合いください。

何年も前の実話です。私が20代でまだ信者になりたての頃、私は孤児と見捨てられた思春期の少年たちの家で、ボランティアをしていました。そこで私は、一人のアフリカ系アメリカ人の少年の世話をしていたのです。ある日、そこで私がボランティアとして、彼の世話をし、彼と話をしていた時に、彼に福音を伝えなければならぬ気がして、それに応えるチャンスを彼に与えたら、彼はそれに応えたのです。私はすごく驚いて、「主よ！次はどうすれば良いのですか？」と。私はまだ信者になりたてでしたから。

「君がもし今日死んだら、君は自分が確かに主の元へ行くことが分かっているか？」と聞くと彼は、「分からない。」と言いました。だから、「君が永遠のいのちを持っているかどうかは、君にも知る事が出来るんだよ？」と言ってそれから、私はきっとパニックになりながら伝えたと思いますが、神のことは虚しく返る事はありませんから、彼はそれを受け入れたのです。そして彼はその日、その場で私と祈ったのです。彼は、主の御名を呼び求めて救われました。

その週の後半、彼らは野外活動をしていて、彼は溺死しました。あの瞬間に私は思ったのです。まず第一に、私は心から感謝をしました。あの日、彼と一緒に祈ったことを。彼はキリストに立ち帰りましたから。私は天国で彼に会えるのです。皆さんも分かりませんよ。あなたには分からないのです。

それから、これをインターネットで見ているあなたにも、明日は保証されていませんよ。だから私たちは、あなたがイエス・キリストの福音に応える機会をお与えしているのです。ご起立ください。祈りましょう。皆さんの忍耐に感謝します。

天の愛であられる父なる神様。聖書預言に感謝します。御言葉の中で、それらが起こる前に、何が起こるかを知らせて下さり感謝します。それが起こり始めた時、未信者は信じ、信者達は体をまっすぐにして、頭を上にあげ、励まされ、希望を得ます。祝福された希望です。すぐに、実に間もなく、ラッパの音が鳴ると、キリストにある死者がまず初めによみがえります。あなたの元に召された私たちの愛する人たちの全て、私たちが心から会いたいと願い、悲しむ人たち、私たちは、世の人たちのようには嘆きませんが、それでも悲しんでいます。しかし彼らの死んだ体がまずよみがえり、次に生き残っている私たちが、たちまち彼らと一緒に、それくらい速くこの朽ちる体を脱ぎ、そして朽ちない栄光の体に変えられ、そして空中であなたとお会いして、いつまでもあなたと共にいます。主よ。主イエス、速く来てください。主よ。もし今日ここにいる人、もしくはこれをインターネットか何かで見ている人の中に、あなたとお会いする備えができていない人がいるなら、あなたとの関係が正しくない人たちが今日、あなたを呼び求めて救われますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。



このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Fuyuko Chishima